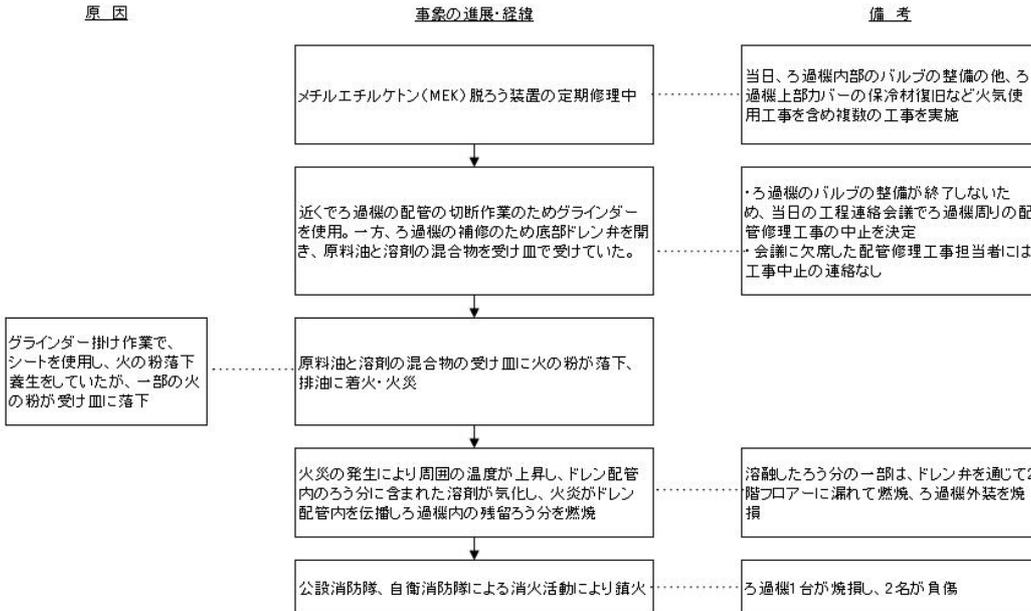




メチルエチルケトン (MEK) 脱ろう装置定期修理中ろ過機室で火災

事象進展図

00117	メチルエチルケトン(MEK) 脱ろう装置定期修理中ろ過機室で火災
発災年月日	1996年7月16日
装置	メチルエチルケトン(MEK) 脱ろう装置
運転状況	補修工事中
特徴	火気使用工事を含め複数の工事を実施したが、工事の中止指示連絡の不徹底による火災



再発防止策

- ・可燃性物質が存在する場所において、火災や火花を発生する火気作業を行わない。
- ・定期修理工事では作業間の連絡調整の徹底を図り、その結果を工事担当者へ周知する。災害発生に繋がる作業の競合が生じないようにする。
- ・火気使用工事などの作業規程が遵守されるよう、安全管理体制の整備及びそれに基づく安全管理並びに作業員に対する安全教育を徹底する。
- ・定期修理工事の発注及び元請企業は、事故事例の収集と周知により、同種災害の防止に活用する。

安全専門家コメント

- ・ろ過機室での火気使用の許可条件がどのようになっていたのか確認できないが、少なくとも設備管理者の立会許可なくして火気使用までできないと思われる。作業者にその辺のルールが徹底していれば防げたと思われる。
- ・工事計画を変更した場合は欠席者を含めて関係者全員に周知徹底することが大切である。そのためには会議の出欠席者を確認して全員に会議録を配布するようにする。
- ・計画されていたグラインダー作業をなぜ中止できなかったのか、誰が歯止めをする必要があったのかを詳細に追及すべきである。
- ・再発防止対策をいくつもあげることは完璧に実施されればよいが、その場のぎになることがよくある。本質的な問題は何だったのかを問うようにしたい。

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
原料油と溶剤の抜き出し中に、グラインダー作業を実施	原料油と溶剤の受け皿に火の粉が落下し着火	《管理・運営要因》 ・安全監査制度の不備・不十分 《工事・施工要因》 ・工事検収不足 《人的要因》 ・作業確認不足・ミス 《情報要因》 ・プロセス特性・危険性の評価・検討不足 ・指示・伝達不足



メチルエチルケトン（MEK）脱ろろ装置定期修理中ろ過機室で火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・消防庁、メチルエチルケトン脱ろろ装置濾過機室火災事故、危険物に係る事故事例 - 平成8年、P.118-120
- ・全国危険物安全協会、危険物施設の事故事例 Case 100 、P.6、1999年

▶ 添付資料



[図 MEK装置濾過機外観図](#) (109 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

▶ 関連情報